

北部圏域 市町村の紹介

国頭村 は、海、山、川の自然資源及び、国、県、村指定の文化財や史跡に恵まれている。特に自然については、沖縄本島最高峰の与那覇岳をはじめ、西銘岳、伊部岳を主軸とした雄大な緑の山々、大小30余りの清らかな河川、太平洋、東シナ海の澄みきった海、東海岸線の海岸景観や、沖縄島最北端の辺戸岬より西海岸にかけて沖縄海岸国定公園にも指定され、自然景観に恵まれている。また、奥深い緑の国有林等には、ノグチゲラ、ヤンバルクイナ、ヤンバルテナゴコガネ等、国指定天然記念物の宝庫でもあります。この自然を活かした体験型・滞在型・地域密着型観光を推進しています。又、海、川沿いに「くいなエコ・スポレク公園」が完成し、全天候の陸上競技場、野球場、多目的広場、パークゴルフ場、テニスコート等があり、青少年の健全育成、村民の健康増進や県内外からのスポーツ合宿・各種大会・イベント等及び、リピーターによる交流人口の増大により、村の活性化を図っていきます。



やんばる学びの森



新茶 奥みどり 茶畑 菓膳華みそ タンカンジャム 佃煮 海産物加工品(セイイカ)

大宜味村 「長寿日本一大宜味村」沖縄本島の北部に位置する、人口3,500人の村です。「やんばる」と呼ばれる沖縄本島の北部に位置し、山・川・海の大きな自然に囲まれています。平和と自然を愛し人情に惹かれた「ぶながや」たちが、永住地と定め棲みつけたロマン溢れる村です。急速に進む近代化の嵐の中で、本村は芭蕉布を守り育て、豊かな自然はシークワサーを産し、健康・長寿を育んできました。喜如嘉(きじょか)地域では伝統の芭蕉布が完全な手作業で行なわれており、伝統を継承している「喜如嘉の芭蕉布保存会」が国指定の重要無形文化財保持者として認定されています。主要産業は第一次産業で、山地におけるシークワサーやマンゴー、シイタケの栽培が盛んです。



芭蕉

4つのキーワード「長寿の里」「芭蕉布の里」「シークワサーの里」「ぶながやの里」を掲げ、「豊かで住みよい、明るく健康で、文化的な村」を目指し、美しい自然環境、良好な景観、伝統文化等を生かし、いつまでも「ぶながや」たちと共存できる平和で文化の薫り高い豊かな村づくりに取り組んでいます。



蕎麦畑 シークワサー 黄金(くがに) 長寿の恵み 大宜味産の茶 大宜味村の 地酒

東村 は、「山原(ヤンバル)」と呼ばれる本島北部の東海岸に位置し、北は国頭村と大宜味村、南西は名護と接し南東は太平洋に面しています。村の総面積の約76%が山林に囲まれ、イタジイを中心とする照葉樹が生育し、豊かな自然環境の中、ノグチゲラやヤンバルクイナ、ヤンバルテナゴコガネなど数多くの貴重な生物が生息しています。本村の基幹産業は農業であり、主に国頭マージの酸性土壌であるために、パインアップルやさとうきびを主体とする農業を展開してきましたが、近年では経営の安定化を図るため、パインハウスや園芸施設の導入が図られております。観光面においては、「交流型農村」を目指す気運が高まり、都市部との交流による観光客が増加し、エコツーリズム・グリーンツーリズム、ブルーツーリズム等の参加・体験・滞在型観光の活動が活発に展開されております。この様なエコツーリズムを中心とする観光事業は、自然豊かな本村にとって、地域の特色を活かした新しい産業の発生として、内外から注目を集めております。



パイン畑



パインアップル コフィチュール パインアップル ドレッシング タコライスソース BBQソース パイン風味の ポン酢 パインアップルクッキー

今後は、こうした本村の特色を最大限に活かし、本村の基幹産業である農業を始め各種産業との連携をより一層強めつつ、自然の保護と活用の適正なバランスをとりながら、「山と水の光り輝く農村」をめざして村の活性化を図っていきます。

北部圏域 市町村の紹介

本部町 は、本部半島の先端に位置しています。西の洋上には伊江島をはじめ、北方には伊是名島、伊平屋島を望むことができます。このような位置にあることから県が管理する地方港湾である本部港は各周辺離島航路の発着拠点であるとともに北部港湾の中心とも言えます。また、陸上では東南に名護市、東北に今帰仁村と隣接しており、名護市を中心とした北部の人口集中地域となっています。日本一早咲きの桜の名所でも知られる八重岳や国定公園に編入された円錐カルスト地域を中心とした山々、水納ビーチや瀬底ビーチといった国内有数の透明度を誇るビーチ、そして自然とふれあえる私たちの生活の源である満名川など、山・海・川がバランスよく融合する風光明媚なまちです。



物流センター

これら豊かな自然を生かし本町では、アセローラ、タンカン、キク、ランなどの農業や唯一のカツオ一本釣り漁、モズクの養殖などの漁業、畜産業のほか、琉球藍による藍染や木工芸、陶芸などの工芸も盛んに行われています。



アセローラ 本部牛 カツオ タンカン 輪ギク

今帰仁村 豊かな自然に恵まれ、古くから農業と漁業が盛んに営まれていた今帰仁村は、14世紀はじめ今帰仁城を居城とした北山王が本島北部(ヤンバル地域) 一帯を治め、琉球の三山(南山、中山、北山) 時代を形成したといわれています。



今帰仁の駅 そーれ

現在では「琉球王国のグスク及び関連遺産群」の一つとして「今帰仁城跡」が世界遺産に登録され国内外から注目を集めています。また、架橋により結ばれた古宇利島には古くから語り継がれてきた「人類発祥伝説」や多くの「祭祀」が現在でも行われ、「神秘の島」として知られています。昨今の少子・高齢化社会、高度情報化社会の波にもまれながら、「農が織りなすゆがふむら・今帰仁」を将来像として掲げている本村では、農業を基軸としつつ商工観光にも力をいれ、多くの来訪者の方に「今帰仁に来てよかった、またこの村に遊びに来たい。」と思われるような村づくりを村民一丸となって取り組んでいます。



ちんすこう クワンソウ茶 橙花菜 今帰仁村のアグー スイカ ぶどう 甘草(クワンソウ)

名護市 山原(やんばる)の自然豊かな大自然は、古くより県民の心の故郷として親しまれてきました。山々から流れる清流は、貴重な動植物をはじめ様々な生物を育み、都会で疲れた心と身体を癒す沖縄の桃源郷として人々の心を潤しています。



やんばる物産センター

古くより山紫水明の地と言われ、豊かな自然環境を有する名護市は、三方を名護湾、羽地内海、太平洋の紺碧の海に面し緑深い山々に抱かれた名護市。この恵まれた自然を生かした観光、農業、漁業などの各種産業の充実を図り、人材育成を含めた就労促進のための事業を展開し、市民参加型の人的交流や情報の発信を積極的に推進していく魅力にあふれたまちづくりを勧めています。



ゴーヤー シークワサー タンカン 菊 かぼちゃ 勝山シークワサー